

● **広域の農業地域の生息環境評価マップについて**  
 (調査名：生息環境情報調査)

調査地域	東北管内（8広域農業地域）	調査年度	H19～
------	---------------	------	------

**【要約】**

広域農業地域の北上川地域及び雄物・米代川地域の中の、国営事業「和賀中央地区」、「平鹿平野地区」を対象として、既存資料、生物調査及び生息環境調査を用いて、生息環境を区分し、生息環境評価マップを作成した。

**1. 調査の背景・ねらい**

これまでの主に地点情報であった生態系に関する情報を面的に拡大し、農村地域の生物の成育・生息環境を区分する生息環境評価マップによって、農村地域における生物多様性を客観的・効率的に評価することが可能となる。

このため、広域農業地域を対象に、農業農村整備事業に密接に関わる水辺の生物について、生育・生息情報を地図情報として整備することにより、環境との調和に配慮した土地改良事業調査計画の効率化と事業による環境配慮の質的向上に資する。

**2. 成果の内容**

**【生息環境評価マップの作成】**

水路構造、土地利用などの既存資料、生物調査結果及び生息環境調査結果から、生息環境区分毎の環境特性を整理し、これに基づき1/2.5万の地形図上に図示することにより、生息環境評価マップを作成した。

以下に国営事業「和賀中央地区」及び「平鹿平野地区」について、生息環境区分毎の環境特性と生息環境評価マップを示す。

○和賀中央地区（広域農業地域 北上川地域）

**【和賀中央地区の環境特性】（一部抜粋）**

区分	Ⅱ-4	Ⅲ-3	Ⅲ-4	Ⅲ-9
水路構造：Ⅰ～Ⅳ	2面張り：Ⅱ	3面張り：Ⅲ	3面張り：Ⅲ	3面張り：Ⅲ
土地利用：1～9	水田(中区画)：4	水田(小区画)：3	水田(中区画)：4	市街地：9
環境特性	水路内の環境は、一様ではなく、水田との連続性もある程度維持されている。	水路内の環境は単調であるが、水田との連続性が維持されている。	水路内の環境は単調であるが、水田との連続性もある程度維持されている。	水路内の環境は単調であり、周辺地上部も単調な環境である。
確認魚種	ウキゴリ、ウグイ、ドジョウ、ヨシノボリ類、等	アブラハヤ、ウグイ、カジカ、ドジョウ、モツゴ、ヤマメ、等	ウキゴリ、ウグイ、トウヨシノボリ、ドジョウ、ギバチ、等	アブラハヤ、ウグイ、ギバチ、ドジョウ、モツゴ

**【和賀中央地区の生息環境評価マップ】（イメージ）**



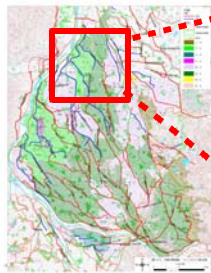
(全体図)

(拡大図)

○平鹿平野地区（広域農業地域 雄物・米代川地域）  
**【平鹿平野地区の環境特性】**（一部抜粋）

区分	Ⅱ-3	Ⅲ-3	Ⅲ-4	Ⅲ-9
水路構造: I～Ⅳ	2面張り:Ⅱ	3面張り:Ⅲ	3面張り:Ⅲ	3面張り:Ⅲ
土地利用:1～9	水田(小区画):3	水田(小区画):3	水田(中区画):4	市街地:9
環境特性	水路内の環境は、一様ではなく、水田との連続性も維持されている。	水路内の環境は単調であるが、水田との連続性が維持されている。	水路内の環境は単調であるが、水田との連続性もある程度維持されている。	水路内の環境は単調であり、周辺地上部も単調な環境である。
確認魚種	ウグイ、オイカワ、カジカ、カワムツB型、コイ、タイリクバラタナゴ、ドジョウ、ナマズ、ニゴイ、ビワヒガイ、ヤリタナゴ	アカヒレタビラ、アブラハヤ、ウグイ、オイカワ、オオクチバス、カマツカ、ギンブナ、タイリクバラタナゴ、トウヨシノボリ、ドジョウ、ナマズ、ニゴイ、ビワヒガイ、モツゴ、ヤリタナゴ	アカヒレタビラ、アブラハヤ、ウグイ、オイカワ、カジカ、カマツカ、ギンブナ、ゲンゴロウブナ、コイ、トウヨシノボリ、ドジョウ、トミヨ、ナマズ、ニゴイ、モツゴ、ヤリタナゴ	アブラハヤ、ウグイ、オイカワ、オオヨシノボリ、タイリクバラタナゴ、トウヨシノボリ、ドジョウ、ナマズ、ニゴイ、モツゴ

**【平鹿平野地区の生息環境評価マップ】**（イメージ）



（全体図）



（拡大図）

（参考）

生物調査及び生息環境調査の概要

○現地調査は、排水路を中心として地区毎に19地点を選定し、かんがい期、非かんがい期に生物調査、生息環境調査を行った。

○生物調査

水辺に生息している動物及び植物について概括的に現地確認を行った。

この中で環境特性に関係している魚類については和賀中央地区では1網5目6科12種、平鹿平野地区では1網6目8科23種それぞれ確認された。

○生息環境調査

生物調査地点及びその上下流側において、落差工など生息環境が大きく変化する地点（和賀中央54地点、平鹿平野57地点）を選定し、水田の連続性、非かんがい期の通水性について確認した。

**3. 20年度の調査方針・課題**

19年度は広域農業地域内の2つの国営事業地区で生息環境評価マップを作成した。20年度も引き続き2地区以外の国営事業地区の生息環境評価マップの作成を進める。

担当部署	農村計画部資源課環境保全係	連絡先	022-263-1111（内線 4129）
------	---------------	-----	-----------------------